

# 実は深刻な問題 「ふるさと納税」

みらい川崎市議会議員団 しばりか子

みなさんは、ふるさと納税を利用していますか？納税したうえで、地方の名産品が届くことで「得した気分」になる方も多いと思います。

ふるさと納税とは、人口が減少し、市税収入が減少した地方を応援するために始められた制度で、納税方法を簡素化した

でも、それは川崎市の市税収入が減少している

## 63億円の減収

川崎市のふるさと納税

による影響額は、平成28年度は12億円で

5倍の63億円が見込まれて

います。さらにこの影響額は、普通交付税の交付団体であれば75%が補填されるため、仮に100億円の影響額が見込まれても交付団体であれば75億円が補填され、25億円の影響額で済みます。ところが川崎市は、政令市で唯一の不交付団体のため63億円全てが減収となってしまう。

## 市民サービス維持

本市の令和2年度予算案は、順調に人口が増加していることもあり、一般会計は7925億円、

特別会計、企業会計を含めた合計は、約1兆4853億円と過去最高を更新しました。令和2年度の市民一人当たりの予算の使い道は、医療、福祉、子育て、教育、水道、道路等インフラ整備やゴミ収集など約51万7千円となっています。

ちなみに市債残高は令和2年度は1兆638億円に上っており、赤ちゃんからお年寄りまで市民一人当たり69万4550円の借金を抱えている状態になっています。

## 川崎市にもぜひふるさと納税を

これを機に、ふるさと納税により受ける影響が増えるほど、市民サービスが低下する可能性があることを知っていたら、決して貯金でなく、本来は予算に組み込んではいけなはずのものを、来年度も



しばりか子

昭和43年生まれ／ルミエール幼稚園、西生田小学校／桐朋女子中高(42期白)／跡見学園短期大学卒業／JFE商事(株)、介護付有料老人ホーム勤務(ヘルパー2級)／夫、社会人、大学生の4人家族